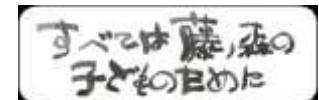


藤ノ森だより 特別号



令和4年3月15日 京都市立藤ノ森小学校 校長 東原 幹人



まん延防止等重点措置に伴う様々な教育活動の制限がある中、また、学級閉鎖や臨時休校等の影響もある中、「できること」を模索しながら取組を進めて参りました。アンケートの自由記述欄においては、臨時休校、コロナ対策、学校の取組について感じておられることについてご回答いただきました。子どもたちのより良い育ちのため、子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様のご意見を活かして取り組んでまいります。

令和3年度 第2回教育アンケート（児童）

□よく出来ている □大体出来ている □あまり出来ていない □出来ていない

学校生活は楽しいですか。	65.1%	22.1%	7.3%	4.9%
授業がよく分かりますか。	40.0%	30.2%	15.2%	10.1%
学校や学級のルールを守って生活していますか。	47.1%	24.3%	17.0%	10.3%
授業中、進んで学習を取り組んでいますか。	56.8%	27.9%	11.4%	6.1%
授業中、先生や友達の話をしっかりと聞き、話していますか。	55.6%	32.7%	9.5%	4.3%
協力して学習することができていますか。	71.6%	24.3%	5.1%	0.8%
家庭で自主学習（がんばり勉強）を取り組んでいますか。	58.8%	31.0%	8.7%	1.5%
ていねいな言葉づかいにきをつけていますか。	45.0%	36.9%	13.2%	5.7%
進んで元気よくあいさつしていますか。	55.2%	27.2%	13.2%	5.7%
自分や人、ものを大切にしていますか。	61.5%	33.5%	5.5%	0.0%
掃除や整理整頓をしっかりしていますか。	59.0%	35.7%	7.1%	0.4%
進んで体を動かしていますか。	54.6%	36.3%	9.5%	1.4%
日頃から読書をしていますか。	43.4%	47.3%	8.9%	1.4%
自分の良いところが言えますか。	62.3%	33.9%	5.1%	0.2%
学校での出来事を家庭で話していますか。	71.4%	26.4%	3.9%	1.0%

すすんで学習する子

学習に関する質問項目では、いずれの質問にも9割前後の子どもたちが「できている」と答えています。しかし「学校生活が楽しい」と答えた子どもは前期と比べ5ポイント低くなっています。学級閉鎖等に伴う学習環境・状況の不安定さが子どもたちの学習状況にも影響があったものと考えられます。今後も制限のある状況が考えられるが、子どもたちが意欲的な学習姿勢を持ち、友達と関わることを大切にした学習を展開してまいりたいと思います。

家庭学習について、こらから必要とされる「自ら学ぶ姿勢」「自ら考える姿勢」などの学習習慣が身に付くように、「何を」「どのように」学習しているのかに目を向けていただき、今後も子ども達の家庭学習を支えていただくことが大切になってくると考えます。

また、読書について、子ども達は「朝読書」の時間を設定しているため読書に親しむ機会があります。また、図書館整備により使用環境が整いつつあります。今後も普段からの読書習慣には個人差が大きい中で、読書をする機会を少しでも増やしていきたいと思います。読書習慣により、読解力が向上するだけでなく、思考力・想像力を養うことができます。ご家庭でも是非読書に向かう姿勢を育てていただきたいと考えます。

令和3年度 第2回教育アンケート（保護者）

□よく出来ている □大体出来ている □あまり出来ていない □出来ていない

わが子が、楽しく学校に通うことができるよう働きかけている。	44.8%	45.1%	6.6%	1.3%
わが子の学習の様子をつかもうと心がけている。	42.3%	47.9%	6.0%	0.6%
わが子がルールを守ることができるよう家でも働きかけている。	27.1%	34.4%	28.1%	8.2%
わが子に、進んで学習に取り組むことができるよう働きかけている。	23.7%	48.6%	23.3%	1.3%
わが子に、人の話をしっかり聞くよう働きかけている。	22.7%	54.9%	17.4%	2.8%
わが子に、曲とでも協力して学習することができるよう働きかけている。	43.8%	51.4%	2.5%	0.6%
わが子に、宿題や家庭学習の習慣が身につくように働きかけている。	44.8%	49.8%	3.5%	0.9%
わが子に、丁寧な言葉づかいをするよう、家でも言葉づかいに気を付けてている。	22.1%	58.0%	15.5%	2.5%
わが子が、自分で進んで掃除をするように、家でも掃除をしている。	37.5%	51.7%	8.2%	0.6%
わが子が、人や物を大切にできるよう働きかけている。	30.0%	55.8%	10.4%	0.3%
わが子に掃除や整理整頓の習慣が身に付くように、家でも整理整頓に努めている。	38.8%	54.6%	4.7%	0.0%
わが子が、自分から進んで体を動かすような言葉かけをしたり、冊子を持ったりしている。	27.4%	55.0%	11.0%	0.9%
わが子に、本をよく読むようにすすめている。	45.4%	51.1%	1.6%	0.0%
わが子の生きを認め、認めるようにしている。	31.9%	60.6%	4.1%	0.0%
おたよりやHP等で学校の様子を知るようにしている。	47.6%	48.3%	1.9%	0.0%

かぎりなくやさしい子

「自分や人、ものを大切にしている」、相手のことを敬うことにつながる「ていねいな言葉づかいに気を付けている」の回答ではおおむねできている様子が伺えますが、前期と比べ言葉づかいについてはできていないと答えた子どもが増えています。

言葉づかいについて、学校では時と場を考えた使い方を指導しています。改めて、言葉を丁寧に使うことを通して人を大切にする姿勢、「相手を敬う」ことを確かめていきたいと思います。また、言葉は人を労わる一方で、凶器にもなり得ます。正しく使うことができるよう、指導を継続していきます。社会に出た時に「言葉」は大きな力になります。家庭だからこそ気持ちを許し、何でも話すことができる関係性が重要ではありますが、丁寧な言葉づかいが社会とつながる第一歩と考え、「相手を敬う」ことを意識した働きかけを今後も継続していただければと考えます。

新型コロナウィルス、インターネット上のいじめ等、様々な新しい人権課題が出てきています。子どもたちをより良く導くためには、正しく知り行動する必要があります。大人も子どもも、日々「自分も大切に、人も大切に」する一歩を踏み出していきたいと思います。

令和3年度 第2回教育アンケート（教職員）



自由記述欄（抜粋）

自由記述にはたくさんのご意見をお寄せいただきました。ありがとうございました。いただいたご意見をもとに、教職員一同力を合わせ、今後の教育活動に取り組んでまいりたいと思います。紙面の都合上、一部のご紹介のみとさせていただきます。ご了承ください。

- 長期の学級閉鎖や休校時にオンライン活用できるようになったら良いと思いました。
- この状況の中、本当に大変な毎日だと思いますが、子どもを取り巻く人々が、何が大切なことを一緒に考えていけたらなあと思います。
- コロナで学校に行く機会が減り、子どもの様子を見れないというのも大きい事ですが、保護者同士もつながる機会が少なくなっていると思います。さらに、学校休校などにより、家で過ごす事も多くなっている中で、保護者の不安は増し、それは子どもにも伝わり……という悪循環になりはしないかと、危惧しております。
- コロナの影響でオンライン学習がどのように進んでいくのか、期待もありますが、親がついていなくとも授業が成立するのか不安も大きいです。
- コロナ禍で感染者が急拡大のなか、臨時休校の判断は適切だと思ったが、附随する学習補償が残念だった。家庭によって差はあるだろうが、最低限できるようにプリントをポストインしたり、タブレット端末活用を進めてほしかった。今後、活用を計画されているようだが、家庭でどんな活用をしてほしいのか、プリントなりメールでPDF添付するなどして示してほしい。また、分かりやすいようにPowerPointなどのプレゼンのような形の資料があればいい。子どもは慣れるのも覚えるのも早いので、そこに保護者が足並みを揃えられるような対応も大切だと思う。
- 学級閉鎖の際、家の学習課題を明確に提示して欲しいです。
- 休校などの場合、もっとGIGAオンライン授業などを活用して欲しい。
- 今年もコロナ禍で、クラス・学年をこえた活動、保護者が参観・参加できる機会が少なく残念でした。学級閉鎖・休校中、家庭学習だけでは不安だったので、オンライン学習が可能になって、休み中でも学校・先生・クラスメートと、学習はもちろん気持ちも繋がることができるようになってほしいです。

※ GIGA 端末活用は喫緊の課題として捉えています。

今後、保護者の皆様の協力のもと、取組を構築してまいりたいと思います。

来年度に向けて

- ご回答いただいたアンケートを、プリントを配布する形からオンラインでの集計に変更しています。それにより利便性は向上したように感じていますが、回収率が以前よりも低くなっています。お忙しい中ではありますが、「子どもたちを取り巻く最大の教育環境は『人』である」ことを大人が少しでも考え、行動に移すきっかけづくりとして、アンケートを実施してまいりたいと思います。ご協力をお願いいたします。
- 今年度、アンケート実施時期がまん延防止等重点措置の期間中であったことや学級閉鎖や臨時休校等の影響で、例年よりも遅い時期の実施であったため、地域の方々のアンケートを実施することができませんでした。来年度には実施できるよう、調整させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

だれとでもつながる子

コロナ禍において、様々な物事が分断される中「つながり」の大切さが再確認されています。学校の内外を問わず、人と人がつながっていくことは重要なことです。特に授業を通して「人とつながる楽しさ」「人とつながる喜び」を感じることができるように、今後も「学ぶ楽しさ」「知る楽しさ」と共に、子ども達がさらに「学校のことを話したい」と学校を誇りに思うことができるような教育活動を創造していくことを考えます。

また、保護者の方が「おたより・HP」を情報源として積極的に活用しておられる様子が分かります。今後もタイムリーな情報発信を行い、子ども達が学校でどのような学習や活動をしているのか様子を把握していただけるように努めてまいりたいと考えます。

しなやかで元気な子

運動場改修工事に伴い、身体を動かす場所がなくなってしまった影響がありました。改修工事を終え、子どもたちの元気な声が運動場にも広がっています。今後も感染予防に注意しながら、体育の授業を中心として、積極的に身体を動かす機会を設けてまいりたいと思います。このような中、今回のアンケートでは90.9%の子どもたちが「進んで体を動かしている」と答えました。体を動かすことは体力向上だけでなく、人(友だち)と関わりながら体を動かすことで「仲良く遊ぶための人との関わり方」や「自分の思うようにいかないときにどう対処するか」といった、心の成長にもつながります。今後も感染予防をしながら、体を動かす機会を大切に、ご家庭でも働きかけていただければと思います。